

平成24年4月19日 山陽新聞朝刊で記事が紹介されました

(平成24年4月20日 山陽新聞社より転載許可承諾済)

ソフトボール男子西日本L 21日開幕

ソフトボール男子の西日本リーグは21日、高知市で開幕する。昨年の全日本クラブ選手権、全日本総合選手権優勝の平林金属ク(岡山市)は2008年以来の日本リーグ制覇へ向けた最初の関門、西日本4位以内に挑む。

9チームによる西日本リーグは11月の第4節まで総当たり2回戦の各16試合。4位までに入れば東日本リーグの上位4チームと日本一を争う決勝トーナメントの出場権を得る。「今年こそリーグで結果を残したい、という思いは強い」と吉村監督。09年はまさかの8位に沈み、この2年はいずれも5位。昨季(9勝7敗)は4位にあと1勝及ばなかった。

全国2冠の偉業を達成した昨年から陣容は変わらず戦力はハイレベル。投手陣の駒は豊富でリーグ最多勝を視野に入れる日本代表の右腕松田以外にも経験豊富な横島や左の福元、森田が控える。

平林金属ク 頂点狙う



4年ぶりの日本リーグ制覇へ開幕ダッシュを狙う平林金属ク

最初の関門 4位以内確保へ

昨季リーグ2位の打率5割を残した谷口や同7位の道本らを擁す打線も切れ目がなくツボにはまれに一発がある。唯一の新人、木谷(環太平洋大出)は走攻守三拍子そろった外野手でスタメンに名を連ねそうだ。

挽回のきくリーグ戦とはいえ、選手は1勝の重みを昨年あらためて思い知った。今季から主将に就いた小原は「16試合あるとは考えず、目の前の試合の勝ちにこだわっていく」。上位を争うチームの力は拮抗(きっこう)している。「今年は相手が嫌がる攻めでプレッシャーをかける」(吉村監督)と盗塁やエンドランなど機動力も駆使し得点に結びつける構えだ。

平林金属クは21、22日の第1節で4試合を行い、ダイワアクト(昨季1位)や高知パシフィックウェーブ(同2位)などの強豪と対戦。4年ぶり2度目の栄冠への第一歩として勝ち越しスタートを狙う。(岸康宏)

